

活用シート16	問題用紙	年 組 番	氏名
---------	------	-------	----

答えは、解答用紙の解答欄らんに書きなさい。

(一) ゆりえさんとあつしさんは、4けたの数を当てるゲームをしています。このゲームのルールは、次のとおりです。

【ルール】

- | |
|---|
| <p>①【出題者】 0～3の数字を1つずつ使い、4けたの数をつくる。ただし、0を千の位で使うことはできない。</p> <p>②【解答者】 4けたの数を予想して紙に書き、それを出題者に告げる。</p> <p>③【出題者】 当たった位がいくつあるかを答える。</p> <p>※ 解答者が正解するまで、②、③をくり返す。</p> |
|---|

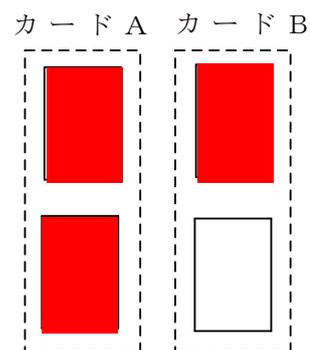
最初は、ゆりえさんが出題者、あつしさんが解答者となりました。

<p>ゆりえさん 「じゃあ、予想してみて。」</p> <p>あつしさん 「2013。」</p> <p>ゆりえさん 「当たっているのは、0個。ぜんぶ外れよ。」</p> <p>あつしさん 「難しいなあ。だって、つくれる4けたの数は、全部で <input type="text" value="ア"/> 通りもあるよ。」</p> <p>ゆりえさん 「じゃあ、ヒントを出すね。十の位は0で、答えは、あつしさんの予想した数より小さくなるよ。」</p> <p>～しばらくして～</p> <p>あつしさん 「分かった。4けたの数は <input type="text" value="イ"/> だよ。」</p> <p>ゆりえさん 「正解！」</p>

1 に当てはまる数を書きなさい。

2 に当てはまる数を書きなさい。また、言葉と数を使って求め方も書きなさい。

(二) 右の図のような、両面が赤のカードA、一方の面が赤でもう一方が白のカードBの2種類のカードがあります。



- 1 カードAとカードBを1枚ずつ1つの袋に入れて、1枚取り出し、机に置いたとき、赤が出る確率はいくらですか。答えを書きなさい。ただし、カードのそれぞれの面の出方は、同様に確からしいものとします。

- 2 カードA 1枚とカードB 2枚を1つの袋に入れて、2枚を取り出し机の上に置きます。このとき、2枚とも白が出る確率はいくらですか。答えを書きなさい。ただし、カードのそれぞれの面の出方は、同様に確からしいものとします。

活用シート16	解答用紙	年 組 番	氏名
---------	------	-------	----

(一)

1

ア

2

イ

【求め方】

(二)

1

2

全部できなくてもいいんだよ。
ゆっくり、一つずつ、確実に。



(一) 1 ア 18

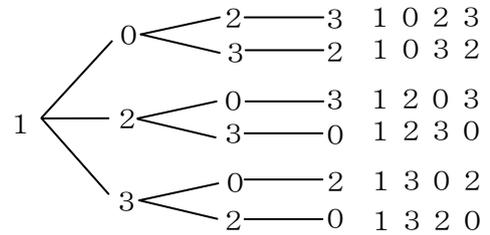
【解説】

つくることができる数を小さい方から大きい方に順に見付けるために、樹形図をかく。

0を千の位に使うことができないため、1、2、3のいずれかを千の位に置いて考える。

右の図のように、千の位が1のとき、できる数は6通りある。千の位が2、3の場合もそれぞれ6通りあるので、全部で18通りある。

千の位が1のとき



2 イ 1302

【求め方】

(正答例)

十の位が0だから、考えられる4けたの数で2013より小さい数は1203と1302。

予想した2013は、全部はずれだから、一の位が3である1203は該当しないため、1302になる。

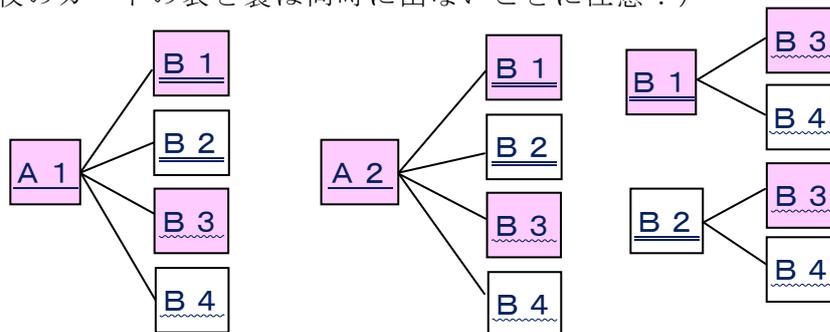
(二) 1 $\frac{3}{4}$

2 $\frac{1}{12}$

【解説】

カードAの面をA1(赤)、A2(赤)、1枚のカードBの面をB1(赤)、B2(白)、もう1枚のカードBの面をB3(赤)、B4(白)とすると、2枚の面の出方は次の12通りある。

(※1枚のカードの表と裏は同時に出ないことに注意！)



この中で2枚とも白に当たるのは、B2-B4の1通り。